

令和2年10月備前市教育委員会定例会会議録

公表版

- 1 開催日時 令和2年10月26日（月）
開会 午後 1 時 28 分 閉会 午後 2 時 44 分

- 2 開催場所 備前市役所 5 階 会議室5-2

- 3 会議区分 定例会

4 出席委員

議席番号	職 名	氏 名	出欠
1	委 員	永 島 英 夫	出
2	委 員	立 花 朗	出
3	委 員	高 取 睦	出
4	委 員	小 坂 郁 子	出

5 出席者

職 名	氏 名	出欠
教育長	奥田 泰彦	出
教育部長	田原 義大	出
教育振興課長	大岩 伸喜	出
学校教育課長	岩井 典昭	出
幼児教育課長	波多野靖成	出
文化振興課長	畑下 昌代	出
社会教育課長	竹林 幸作	出

- 6 付議事件 議案等付議事項のとおり

- 7 会議状況 議事録のとおり
傍聴人 なし 非公開 あり

- 8 署名委員 4番 小 坂 郁 子

- 9 書 記 教育振興課総務計画係長 難波 広充
教育振興課総務計画係 草加 成章

- 10 その他 次回開催日時・場所
日時 令和2年11月16日（月）午後1時30分 開会
場所 備前市役所 5階 会議室5-2

議案等付議事項

区分	案件名
協議第 1号	成年年齢引き下げに伴う式典対応について
報告第 1号	中学校統合準備委員会の立ち上げについて
報告第 2号	教職員の人事異動について
報告第 3号	令和元年度児童生徒の問題行動等調査結果について
報告第4号	熊沢蕃山顕彰会議について

午後 1 時 28 分 開会

教育長 委員の皆様には、令和2年10月教育委員会会議定例会にご出席いただきありがとうございます。ありがとうございます。

それでは、定例会を開会します。ただいまの委員の出席は、全員であります。定足数に達しておりますので、令和2年10月備前市教育委員会会議定例会を開会いたします。

それでは、議事に先立って、9月定例教育委員会会議以降の教育行政の概要、政務について報告いたします。

例年ならば、9月、10月は運動会、文化的な行事、スポーツイベントが目白押しで、子どもたちの元気な姿を見ることができ、うれしい悲鳴を上げていますが、今年度はコロナ禍の中、やや寂しい思いをしています。行事を簡単に中止にするのではなく、子どもたちに経験させ、思い出作りとするために、みんなで知恵を出し合って何とかやり遂げようとする意気込みが伝わってきました。創意工夫の結晶だと思います。

さて、教育行政の概要、政務についてですが、

9月30日、備前焼ミュージアムで特集展示「閑谷ゆかりの焼き物」が始まり、11月23日まで開催しています。「閑谷焼」の細工物を中心に、閑谷焼の影響を受けて誕生した「白備前」、同じ江

戸時代に制作された「彩色備前」の細工物を展示しています。

10月1・3・13日、小・中・高等学校の校長との中間面談をこの日から実施しました。中間期までの学校運営を振り返り、課題を明らかにするとともに、後半に向けての取組について、校長と協議しました。どの学校もコロナ禍の中で、教育活動に制約を受けているにもかかわらず、子どもたちの健康、安全に気を配りながら工夫した取組を展開していました。学校現場では、感染症対策と子どもたちの学びをどう両立させていくか苦慮されている様子がよくわかりました。

10月2日、水戸、足利、日田3市の教育長が表敬訪問されました。翌日の閑谷学校創学350年記念式典に参加するため、立ち寄られたものです。

10月3日、閑谷学校創学350年記念式典が開催され、出席しました。式後、東京大学大学院教授の小島毅先生から「現代社会における儒教の意義」と題した講演を聞きました。

10月6日、統合準備委員会の立ち上げを理解していただくとともに、地区代表としての委員の人选を依頼するため、三石地区区長会へ出席しました。統合までの経緯が浸透していない地区もありましたが、今後のことを前向きに考えたいという意見もあり、概ね了承していただきました。

10月8日、文化財指定書の交付を行いました。教育委員会で、令和2年8月24日に指定重要文化財（彫刻）に指定した2件です。1件は、大瀧山西法院所有の木造阿弥陀如来立像、もう1件は、照鏡山八頭寺所有の木造十一面観世音菩薩立像です。2件とも現存する優れた貴重な仏像です。

10月11日、備前市新庁舎落成式・市制施行15周年記念式典が開催され、出席しました。児童生徒も絵画と作文で将来の備前市について考える機会となりました。

同日、閑谷学校プロジェクションマッピングアートプロジェクトに参加しました。来場者参加型のイベントで、光と音の芸術を堪能しました。

10月14日、園長会と校長会から教育に関する要望書を受け取りました。園長会からは、適正な人員配置、研修体制の充実、処遇改善等について要望を受けました。校長会からは、中長期的な視点に立った安定的な予算確保、非常勤講師や支援員等の配置校・配当時間の拡充、学校施設の計画的改修等の要望を受けました。両者とも厳しい現場の状況を踏まえ、子どもたちの健全な成長のために、学校や園の努力だけでは限界があり、行政の支援が必要なことを要望されました。

10月15日、県教育長と市町村教育長との意見交換会にWeb会議で参加しました。「第3次晴れの国おかやま生き生きプラン」（仮称）、「第3次岡山県教育振興基本計画」、令和3年度において重点的に取り組む施策」について説明があり、重点事業の中で特に協議すべき事項に絞って協議を行いました。

10月16日、和気閑谷高等学校創学350年記念式典に出席しました。350年という歴史の重みと学

校存続のための先人の努力が思い起こされる厳かな式典でした。地域とともに歴史を刻んでいく学校の存在意義を改めて感じました。

10月20日、熊沢蕃山顕彰推進会議を開催しました。今年度予定している企画展や巡回展等熊沢蕃山顕彰事業の進捗状況を報告し、意見交換しました。また、来年度どのように顕彰していくか、事業計画をもとに具体的に協議しました。

10月21日、日本スポーツマスターズ委員会理事の表敬訪問を受けました。令和3年9月に「日本スポーツマスターズ2021岡山大会」の開催が予定されており、備前市でソフトテニス競技が行われるため、表敬訪問を受けました。

10月24日、旧閑谷学校積菜に出席しました。積菜は、孔子の徳を称え、祀る儀式です。厳粛な雰囲気の中で行われた儀式の後、講堂で論語の講釈を聞きました。

以上で報告を終わります。

それでは、議事に入ります。

まず、1番の前回定例会会議録の承認ですが、令和2年9月定例会の会議録について、委員の皆さんでお気づきの点はございませんか。

教育委員（異議なし）

教育長 ないようですので、令和2年9月定例会の会議録については承認することとします。

次に、2番 会議録の署名委員の決定ですが、本日は、4番の小坂委員にお願いいたします。

次に、3番の教育長報告のうち「生徒指導経過」等に関する部分は、会議規則第15条第4号及び第6号の規定に基づき、会議を公開することにより個人の権利利害を害するおそれのある事項、教育行政の公正又は円滑な運営に支障を生ずるおそれのある事項として、非公開とするよう発議します。

このことに賛成の委員は挙手願います。

教育委員（全員挙手）

教育長 全会一致により非公開と決定しました。

それでは、学校及び園の現状報告をいたします。

非公開該当部分の報告になりますので、非公開とします。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【 非公開審議 】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

教育長 引き続き、備前市議会9月定例会議について部長より報告いたします。

教育部長 私から、9月議会定例会の一般質問・質疑の答弁内容を報告させていただきます。

お手元の資料をご覧ください。市長答弁、教育長答弁、部長答弁がそれぞれございました。

まず、国際交流について質問がありました。これは、ALTで配置されている先生方を多方面で活用できないかということでございました。現在でも保育園や認定こども園等、国際交流活動の実施などをやっております。公民館等における市民への英語教室及び国際交流活動等の実施、備前市の実施する国際交流活動等への帯同による語学等支援も行うことができるという答弁をしております。

次に、人口減少対策としての市独自の奨学金の制度についてですが、これにつきましては、既存の独自の奨学金制度がございまして、保育士についてはこれを活用することができますので、これらの実施について周知に努めてまいりたいという答弁をしております。

次に、スポーツ振興基本計画についても質問がありました。今年度中の完成を目指しているという答弁をしております。

次に、中学校の統廃合についても質問がありました。市長答弁ですので、中学校の統廃合、片上小学校給食調理場等に関しては、教育委員会において専門的立場から検討し、方向性を示したものであり、設置者として最大限支援していくと答弁をしております。

次に、備前焼ミュージアムについての質問がありました。この建物は現在耐震性がないと判断されているが、これをどうするかという質問でございました。備前市にもいろいろ多くの公共施設がございます。現在、「公共施設マネジメント計画」の策定協議の中で、手を付けるべき数多い施設の中で、何を優先すべきか、当施設にしても、財源の手当てをどうするか、工事費のコスト比較を踏まえ、耐震化やリノベーション、建て替え等も視野に入れ検討している。今後、ミュージアムのほか、観光施設や文化施設等の機能の統合など検討して、今後検討委員会を設置するなど、方向性を定めていくと答弁しております。

次に、図書館については、現在プロポーザル審査を行い、委託業者を決定しております。現在既存施設の調査に着手しておりまして、検討資料の完成後は方針決定に向けタウンミーティング等を実施していきたいと答弁しております。

次に、新型コロナウイルス感染症に関する支援について、保育士に対して個別の慰労金を出してはどうかという質問がありました。これについては、市の職員であり、個別の慰労金としての手当ては考えていないと答弁しております。

次に、熊沢蕃山顕彰事業については、顕彰会議のメンバー、今後の方向性について答弁をしております。教育長答弁ですが、中学校の統廃合についても、考え方、教育委員会としての方向性を答弁しております。中学校再編整備に係る部活動についてご質問があり、答弁をさせていただきます。

次に、部長答弁ですが、スポーツ振興計画の改訂についての質問がございました。また、伊里小学校のプール改修についても質問がありました。FRPプールとステンレスプールの比較の質問がありました。また、旧日生保育園の再利用について、質問がありました。現在教育委員会では、教育施設としての再利用はしないということで、今後の取り扱いについては、市長部局でお願いしていると答弁しております。以上でございます。

教育長 委員の皆さんで何か質問はありますか。

教育委員（質問なし）

教育長 質問がないということですので、次に、4番 議案等付議事項について審議を行います。

まず、協議第1号 成年年齢引き下げに伴う式典対応について、事務局から説明願います。

社会教育課長 議案書9ページをご覧ください。成年年齢引き下げに伴う式典対応について協議いたします。

ご承知とは思いますが、従来から、例年1月に20歳の方を対象に成人式を開催しております。民法の改正によりまして、令和4年4月に成年年齢が18歳へ引き下げとなることにより、式典の開催方法について各自治体において検討がなされているところでございます。備前市では、今までに社会教育委員等の意見も伺っておりますが、令和4年度以降も現行どおり20歳の方を対象に式典を実施していきたいと考えています。

その理由としましては、18歳という年齢は多くの方が進学や就職を控えた多忙な時期であること、また、飲酒や喫煙の年齢は20歳で維持されることなどがあげられます。なお、県内自治体でも同様の検討がされているところですが、現時点で方向性を示している自治体については20歳を対象に式典を実施する予定と伺っています。

本件につきまして、ご協議をお願いいたします。以上でございます。

教育長 協議第1号の説明が終わりました。何かご質問、ご意見はありませんか。

教育委員 成人式について、先ほど提案がありました。20歳の時に今まで通り、現行通り実施するとのこと。その方向で賛成です。理由として、18歳、19歳は進学や就職に忙しいと思いますし、その方向で当面いいのではないかという判断をしております。

教育長 他の委員さんどうですか。

教育委員 20歳の方が良いのではないかと思います。18歳から19歳は受験勉強の時期で、この時期は人生の中で最も頑張らないといけない時期と考えています。

教育委員 基本的には20歳が良いと思います。今後のことを考えると、18歳で成人という民法の改正もあり、これから18歳で式を行う可能性もあるので、他の市町村の動向調査が必要ではないかと思っています。

教育長 県内の自治体の状況について、わかっている範囲で答弁をお願いします。

社会教育課長 現在、県内の自治体で検討されていますけれど、決定の方針を出しているのは、岡山市、津山市、笠岡市、瀬戸内市、真庭市、和気町です。従来通りの形で式を行うということです。他の自治体でも、今年度中、もしくは、今年の成人式が終わるころには決定するというように思います。

あと、20歳で実施すると、式典の名称ですが、今までの「成人式」という名称とせず、「20歳の集い」、「20歳を祝う会」などに名称変更することを他の自治体でも検討しているようです。

教育長 今日、委員さんにご協議いただいたのは、従来通り20歳で式を実施する、式の名称については今後検討していくということですが、式は従来通り20歳で実施するという事で決定してよろしいか。

教育委員（異議なし）

教育長 異議なしと認めます。成人式は従来通り20歳で行うことに決定しました。

以上で、協議第1号の審議を終わります。

次に、報告第1号 中学校統合準備委員会の立ち上げについて、事務局から説明願います。

教育振興課長 報告第1号、中学校統合準備委員会の立ち上げについてですが、前回の教育委員会議以降の経過についてご報告させていただきます。

9月9日に統合準備委員会の委員の推薦を三石小学校PTA会長、三石中学校PTA会長、吉永小学校PTA会長・吉永中学校PTA会長にお願いしており、9月25日までにすべてPTA会長より委員の推薦をいただきました。

また、10月7日に、三石小学校、三石中学校、吉永小学校、吉永中学校の学校長にも教職員の推薦をお願いし、10月15日までにすべて学校長より教職員の推薦をいただきました。委員の割り当てについては、配布資料のとおりです。

また、10月6日に教育委員会より三石区長会の方に統合準備委員会の立ち上について、委員の人选、協議内容についての協力をお願いし、統合の経緯について、三石地区での文書での回覧を要望されましたので、10月15付けで回覧文書を作成し、配布をお願いしています。

また、11月4日に統合準備委員会の立ち上げについての事前協議を各PTA会長、各学校長と予定しております。その後、統合準備委員会総会を開催する予定にしています。以上です。

教育長 報告第1号の説明が終わりました。何か質問はありませんか。

教育委員 中学校統合の1点目は、スケジュール等についてです。当初は令和2年4月に統合準備委員会を立ち上げる予定のところ、令和2年11月中旬に第1回の準備委員会を開催するとのことでした。となれば、7か月くらい遅れている。今後の準備委員会の動向が三石地区では注視されているという面もあると思います。最終的な統合が令和4年3月末ですが、7か月程度遅くなっているからといって、急ぐあまり対応が疎かにならないように慎重に審議を進めていただきたいということを要望しておきます。

教育委員 スケジュールが遅れていることが心配されているわけですが、一応前に進んでいます。ご苦労はあると思いますが、是非いい形で実現をしていただければと思います。

教育長 会の進め方について、基本的には全体会を1回開催して、あとは「学校部会」、「総務部会」、「PTA部会」、「記念事業部会」等、各部会で動く。コンパクトな人数で機動性を持たせながら会議を重ねて行くという方針で進めていきます。全体会ばかりですと日程調整等に時間を要しますので、先ほど委員が言われましたように、対応は慎重に急がずに、部会協議を中心に行くということです。部会で決まったことは情報を共有していく。教育委員会会議へもお伝えをしていきますので、よろしくをお願いします。

統合準備委員会については、よろしいでしょうか。

教育委員 (質問なし)

教育長 ないようですので、報告第1号を終わります。

次に、報告第2号 教職員の人事異動について、事務局から説明願います。

学校教育課長 11ページをご覧ください。教職員の異動について報告させていただきます。

6段目までについてですが、新型コロナウイルス感染症の影響をふまえた県費負担非常勤講師の配当時間の追加等の措置により、吉永小の非常勤講師、伊里中・日生中の任期付短時間勤務職員を、常勤の講師として採用しております。

7段目は、吉永小においては新たに非常勤講師を1名採用しております。3月まで教諭として市内小学校にご勤務いただいていた方です。

また、8段目、吉永小において休職代員が1名退職されましたので、9段目、1名休職代員を採用しております。以上で報告を終わります。

教育長 報告第2号の説明が終わりました。何か質問はありませんか。

教育委員（質問なし）

教育長 ないようですので、報告第2号を終わります。

次に、報告第3号 令和元年度児童生徒の問題行動等調査結果について、事務局から説明願います。

学校教育課長 12・13ページをご覧ください。令和元年度児童生徒の問題行動等調査の結果について報告させていただきます。

まず「いじめ」についてですが、「認知件数」は小・中学校ともに減少しております。これは、前年度からの未解消ケースを含め、事案発生時にはケース毎に報告を求め、市教委と学校が連絡を取り合いながら解消に至るまで丁寧に対応し、再発防止につとめてきた結果と考えています。

また、「解消状況」については、小学校で低下が見られます。これは、解消の定義を徹底し、より厳密かつ丁寧にみとることによるものと考えておりますが、このことにより、再発の抑止につながり認知件数の減少につながっていると考えています。

次に、「暴力行為」についてですが、小・中学校ともに減少しており、落ち着いた状況を保つことができていると考えています。こちらについても、いじめ事案と同様に、発生時から市教委と学校が連携して再発防止のための対応を行っている結果と考えています。

「不登校」については、特に小学校で減少しています。組織的な対応を早期から開始し、家庭の協力が得られるよう信頼関係を構築することで、新規不登校の発生を未然に防ぐことができたと考えています。中学校はやや減少となっておりますが、小学校から継続して不登校である生徒も多く、長期化するほど解消が難しい状況が分かります。引き続き、新規不登校の発生を未然に防ぐ取組をすすめたいと思います。以上でございます。

教育長 報告第3号の説明が終わりました。何か質問はありませんか。

教育委員 「いじめ」、「暴力行為」とともに減少傾向で良い結果が出ていると思いますが、「いじめの態様と解消率」のところで、態様に軽いも重いもないのですが、「金品を隠される」、「嫌なことや危険なことさせられる」、「パソコンや携帯電話等で誹謗中傷される」という3点については、慎重に取り扱って、さらに連携を深めて、こういったことの解消に十分な配慮をお願いしたいと思います。

教育長 学校の対応で特質的なことがあれば、答弁願います。

学校教育課長 特質的なことではありませんが、学校だけで物事を解決しようとしなくて、市教委の担当者を中心にその情報を聞きながら情報把握に努め、相談しながら解決、あるいは解消に

向けて進めていくということ、また、いじめは基本方針があります。基本方針にあわせて、方向性などをアドバイスしながら対応していくことで、再発防止に努めていけたらと考えております。

教育委員 保護者として、小学生、中学生がいますが、先生方が一人ひとり手厚く見てくださるので、この時期、ほかの自治体で、不登校が多かったり、いじめや暴力行為が多い地域がありますが、これだけ少ないのは、先生方の丁寧に子どもたちを見てくれている対応によるものと感動しています。

教育長 学校現場もきめ細かい対応を心がけているということで、着実に成果ができれば、先生のやる気に繋がりますし、次の取組への力になっていくということだと思います。

教育委員 近所の中学校1年生の生徒と話をする機会がありました。

コロナの関係もあって入学式はありましたが、休みとなり、5月21日から授業が開始され、短い夏休みがあり、合唱祭の練習もありました。

中学1年生くらいから思春期に入ってくると、不登校になる子が、発達障害の子が教室へ入れなくなったりして、中学1年生とか2年生とか多感な時期に学校へ行きたくない子どもたちを見てきたので、その生徒に、同級生はみんな学校へ来ているか聞いてみましたが、「不登校の生徒はいない」という返事でした。学校は楽しいと聞くと「楽しい」という返事でしたので、安心しました。中学1年生とか2年生という時期から夏休み明けに学校へ行けない、教室へ入れない発達障害の子どもさんが最近多いので、教室に入れなくなって不登校になるので、先生方も大変だと思いますが、一生懸命対応してくださっているので、その生徒の話を聞いて安心しました。

教育長 ほかにありませんか。

教育委員 (質問なし)

教育長 「いじめ」、「暴力行為」、「不登校」については、学校の大きな課題ですので、引き続き、改善に向けて取組を強化していきたいと思います。

教育長 ないようですので、報告第3号を終わります。

次に、報告第4号 熊沢蕃山顕彰会議について、事務局から説明願います。

文化振興課長 先日10月20日、火曜日に開催されました第2回熊沢蕃山顕彰会議について報告いたします。別添の要旨をご覧ください。

議事内容ですが、今年度の顕彰事業の進捗状況について、話をさせていただきました。

「企画展・巡回展等」では、1番の加子浦歴史文化館で行われた「閑谷学校創学350年記念巡回展」で、熊沢蕃山を特集展示しており、76日間で延べ504人の来館がありました。

2番の熊沢蕃山顕彰保存会主催による「熊沢蕃山先生没後330年記念展」を11月20日～22日の3日間備前市市民センターで開催されます。熊沢蕃山の生涯や事績をパネルや写真で紹介するほか、熊沢蕃山に深く関わりのある人物の著書・掛軸・写真等を展示する予定です。

3番の「蕃山～方谷サミット in 閑谷学校」が、11月28日、土曜日に閑谷学校プレイホールで開催されます。元文部科学副大臣の小野晋也先生による基調講演、備前市長・旧閑谷学校顕彰保存会の國友理事長・熊沢蕃山顕彰保存会の立花会長等4名がパネラーとなり、パネルディスカッションを行う予定です。

4番の閑谷学校創学350年を記念して行われる各種事業のなかで、12月12日、土曜日に「熊沢蕃山顕彰記念講演会」を備前市教育委員会主催で開催します。備前市市民センターで行いますが、定員は、新型コロナウイルスの感染予防対策として70名としております。内容は、熊沢蕃山顕彰保存会の立花会長による基調講演、森 熊男先生を含め3名をパネラーに迎えたパネルディスカッションを実施する予定です。

5番の熊沢蕃山先生没後330年記念誌「熊沢蕃山」を熊沢蕃山顕彰保存会が2000部発行し、今後の企画展「熊沢蕃山先生没後330年記念展」などでも配布される予定です。

6番は、備前市教育委員会で「蕃山先生」の再版を8月末に1300部発行しました。活用方法として、小学校5・6年生には学級文庫として、小学校3・4年生には社会科の副読本とセットで勉強してもらえるよう依頼をし、このほか学校教員や中学校の図書館、市立図書館や地区公民館などに配布しました。

次に、「絵本・紙芝居の募集について」ですが、絵本・紙芝居の作品募集を7月末から行っており、会議時点で応募登録は、絵本部門3件、紙芝居部門2件の計5件となっておりますが、現時点では絵本部門 6件、紙芝居部門 2件の計 8件となっております。

この公募事業をPRするため、広報や市のホームページはもちろん、Facebookや公募ガイドなど、SNSを活用して広報活動を行っております。また、絵本作家を目指す学生が在籍している大学や専門学校、全国の出版社や絵本作家協会にもチラシやポスターによる広報をお願いしているところです。

次に、「クラウドファンディングについて」ですが、10月1日から目標金額300万円で寄附募集を開始しております。ふるさと納税を活用したクラウドファンディングの運営を行っているふるさとチョイスのページです。このプロジェクトを説明するうえで、熊沢蕃山を知ってもらうために計画している事業の創作絵本・紙芝居の公募と展示品等の作成の説明、熊沢蕃山顕彰保存会の立花会長と絵本等公募事業の審査委員をお願いしている片山ひとみさんなど、この事業を応援し

ていただいている方のメッセージをいただき、掲載しています。今後のクラウドファンディングのPR先として、地元はもちろんのこと、今後行われるイベント、例えば、11月1日に閑谷学校で行われる日本博関連のイベントや蕃山関連の行事等でのPR、熊沢蕃山に関連の深い各種団体も含めてPRが必要と考えております。

次に、「掛軸やパネル等の展示品の作成」ですが、展示品作成作業につきましては、掛軸・自画像の複製、熊沢蕃山の年表や足跡などの展示用のパネルの作成を進めており、そのほか、地元にある熊沢蕃山にまつわるものを紹介するようなパネル等の作成を検討しております。

次に、来年度の事業計画について、まず、事務局提案では、「絵本・紙芝居公募作品の製本等」について、現在作品募集を行っている絵本・紙芝居の作品の募集要項で「最優秀賞をはじめとする受賞作品の中から、市での出版等を検討します」と明記しています。審査結果により、出版するに値する内容であれば、各部門1作品ずつを作品化に向けて進めていく予定です。作品化した場合は、市内県内の図書館や学校、関連団体などへの寄贈を考えております。

次に、「まんが「熊沢蕃山」の改訂版製作」について、この計画は平成5年に当時安曇川町、現在の高島市で発行されたマンガを、備前市版に改訂し、民間財団の助成を受けて製作するものです。マンガ自体は非常に読みやすく、熊沢蕃山を全く知らない人が読むものとして適しており、これに熊沢蕃山と備前市の関わりをクローズアップした短編マンガを加えた改訂版の作成を計画しています。この計画については短編マンガの製作も含め、作者の「さいわい徹」先生と高島市のご協力が必須であり、現時点でのマンガの権利関係を調査し、作者や高島市とも連絡調整を行っております。

次に、「委員からの提案」では、

- ・備前市が進めている「持続可能まちづくり」と「教育のまち」両方のシンボリックな人だと思ふ。備前市の方向性も会うので、熊沢蕃山をその中に位置付ければもっとその存在がクローズアップされるのでは。例えば「蕃山イズム」など。
- ・創学350年の年だけでなく毎年継続して考えていくべき。
- ・「備前学」をつくるのはどうか。
- ・備前緑陽高校の総合学習の時間に蕃山の研究を取り上げてもらう。
- ・地域学というか小中高併せて、備前のいい所を学んでもらう。

などの意見が出ました。以上です。

教育長 報告第4号の説明が終わりました。何か質問はありませんか。

教育委員 1番の「閑谷学校創学350周年記念巡回展」の延べ入場者が504人ですが、人数的にはど

ういう評価ですか。目標以上の人数ですか。

教育長 平時の入場者の人数と比較してどうですか。わかる範囲で。

文化振興課長 今は数字を持っていませんのでわかりません。後日調査のうえ回答いたします。

教育委員 クラウドファンディングについて、現在の寄附額はいくらでしょうか。

それから、パネル展の展示品を既に作成していると思いますが、従来からの展示の仕方ではあまり面白みがないように思います。見せ方がとても重要だと思います。どこに焦点を当てるのか、子ども向けか、全体向けか。ただ見せるだけでは印象に残らないと思います。展示の仕方とか、何かを絡めて人を集めるように、たくさんの人に来ていただけるようになればと思います。

文化振興課長 1点目、クラウドファンディングの現在の寄附額は、2人で2万円です。

2点目、展示品についてですが、先ほどの加子浦歴史文化館の巡回展は、伊里地区が持たれているものをお借りして展示しましたが、今事業で作っている展示物は、伊里地区の熊沢蕃山先生の記念展に年表が間に合えばと思い作っています。あと、蕃山先生がどんな人かわからないので、自画像とかを作っていて、知ってもらおう工夫・努力をしているところです。

教育部長 展示品ですが、地区の人にも探されて、ゆかりのものを展示する予定です。見て終わりではなく、そこに至るまでに、蕃山先生について、いかに子どもたちを含め興味を持ってもらうか、是非展示を見に行かなければならないという意識付けも必要だと思います。そういった中で、副読本とか、備前市ゆかりの偉人などによって、小学生にも知ってもらおうPRとか、広報を通じて備前市や県内でこのような事業を行ったとか、蕃山の考えが今の日本の政策に繋がっているとか、世界に通じるものがあるということ子どもたちにも分かってもらって、展示を見に行きましょうという意識付けをしていかないといけないと思っています。

教育委員 その通りで、小学生に促しても手に取って読むまではしないです。PRの仕方とか、子どもの心をつかむやり方をしないと興味を持たないと思います。子どもに知ってもらうには、保護者へも浸透しないと難しいと思います。学校も一緒になって仕向けてやっていかないといけないと思います。

教育長 より蕃山先生が浸透する形、特に子どもたちに理解してもらうために啓発方法の工夫をしてもらいたいということと、展示品を見せるという視点がポイントで、生きる展示のための展示品の作成を考えていったらいいのではというご意見かと思います。

教育委員 来年度事業計画の「絵本・紙芝居公募作品の製本等」について、いかに子どもたちによく知らせるかということで、小学校・中学校には読み聞かせボランティアが月に1回は入っていると思います。絵本、紙芝居をすると子どもたちはすごく喜びますし、良く訴えられると思うの

で、こういうことを小さい時からしていけば、子どもたちの理解に繋がっていくと思います。ボランティアの方などにもお願いして行かれたらと思います。

教育長 ボランティアの方の協力を得て、出来上がった紙芝居等を使って、こども園とか小学校で読み聞かせをしていただくということをしたらどうかというご意見かと思えます。可能な範囲で取り組んでいただきたいと思います。

教育委員 今年度になって、熊沢蕃山がクローズアップされて、多くの事業が増えておりますが、地道な事業、毎年すべき事業を継続してやってほしいと思います。地道に事業を進めていくことも忘れずにやってほしいと思います。

教育長 ほかにありませんか。

教育委員 (質問なし)

教育長 多くのご意見をいただきましたので、整理して今後に生かしてもらいたいと思えます。ないようですので、報告第4号を終わります。

次に、5番 次回の教育委員会会議の決定ですが、事務局案を説明願います。

教育振興課長 11月の定例会につきましては、9月の定例会でもお伝えしておりましたが、11月16日月曜日、午後1時30分から市役所5階会議室で開催することを提案いたします。

また、12月定例会につきましては、12月11日金曜日、午後3時から市役所5階会議室で開催することを提案いたします。

教育長 それでは、次回定例会は、11月16日月曜日、午後1時30分から市役所5階会議室で開催することで、いかがでしょうか。

教育委員 (異議なし)

教育長 それでは、次回教育委員会会議定例会は、11月16日月曜日、午後1時30分から市役所5階会議室で開催いたします。また、12月定例会は、12月11日金曜日の予定とし、時間は議会の委員会の関係で午後3時からの予定です。会場は市役所5階会議室で行いたいと思えます。

次に、6番 11月の行事予定、共催・後援予定が事務局より提出されています。何か質問はありませんか。

教育委員 (質問なし)

教育長 ないようですので、その他で、事務局からありましたらお願いします。

幼児教育課長 保育園・認定こども園の入園保留数、及び待機児童数を報告いたします。この表はあくまで入園希望者の第一希望園を掲載しています。今は第2希望、第3希望をお聞きしていますので、園ごとの待機児童数は就園によって毎月変動します。

10月1日現在で4月の19人から17人になりました。別表をご覧ください。但し希望者による入園の保留は84人であります。この入園保留者から、国が示す待機児童除外に当たる内訳が認可外保育施設に11人、伊部、日生、吉永の一時保育常時利用者が13人、この方々は待機児童対策の一環で、預かり日数を月13日から16日に増やした方です。また出産及び育児休業続行が25人、求職中の方で、ハローワークによる求職続行カード写しの提出のない14人を除外、また特定の園のみ希望の4人、合計67人を除外し、17人を待機児童としました。

4月以降も 0歳児の入園申請が26名、1歳児が8名、2歳児が2名、計36名あり、毎月のように6ヶ月になった 0歳児の入園希望者が後を絶たない状況です。なお、5月以降の新規入園者は17名です。引き続き認可外保育や一時保育の斡旋や会計年度任用職員の募集を続け、解消に努めます。

この数字は29日の備前市議会厚生文教委員会で報告いたします。以上です。

教育長 令和2年度の10月1日現在の入園申込状況についての報告がありました。何か質問はありませんか。

教育委員 (質問なし)

教育長 ほかにありますか。委員さんから何かありましたらお願いします。

教育委員 (発言なし)

教育長 ないようですので、以上で10月の教育委員会会議定例会を閉会します。

午後 2 時 44 分 閉会

備前市教育委員会会議規則第16条第2項の規定により、下記に署名する。

会議録署名委員 教育長

委員